

令和3年度第4回西宮市民ファミリーハイキング事業報告

奥アンツーカ（株）

【実施日時】 令和3年12月16日(木) 13:30~16:00

【実施概要・コース】



第4回ハイキングは、夜から雨という天気予報も出る中、12月にしては暖かい日の開催となりました。

13:30に須磨海水浴場に面したJR須磨駅に集合、お申込み25名、当日参加27名で実施しました。

須磨海岸はあいにくの曇り空でしたが、JR須磨駅南口から、須磨の関跡の近くを歩いて須磨寺に向かいました。

須磨寺は、886(仁和2)年に間鏡上人(もんきょうしょうにん)が開いたとされ、木造の十一面観音立像などの重要文化財のほか、子規、芭蕉、山本周五郎などの文学碑が点在しています。

各自、しばらく須磨寺を自由に拝観後、今度は、源平の古戦場、さらに現在は桜の名所として有名な須磨浦公園に向かいました。



須磨浦公園で小休止後、塩屋海岸を左手に見ながら国道2号線を塩屋に向かって歩きました。(希望者は、須磨浦公園から電車移動)

塩屋は、明治期から昭和初期にかけて、六甲山地西端の山が海に迫り、風光明媚なその土地柄を愛した外国人たちが移り住み、多くの洋館が建てられま



した。今回は、JR 塩屋駅からすぐ近くにたたずむその洋館の一つ「旧グッゲンハイム邸」を見学しました。(ちなみに、無料見学会は毎月第3木曜日で、今日のハイキングもこの見学会に合わせての開催となっています。)

旧グッゲンハイム邸周辺には複数の洋館が立ち並んでいますが、内部が見学できるのはここだけ。開放的なベランダと列柱、張り出し窓、鎧戸など典型的なコロニアルスタイルの建築様式が国道2号線や鉄道からもはっきりと見ることができます。あいにくの天气で暗かった内部は、ご厚意により、手を加えられていないという灯具の照明をつけていただき、大きな窓と鎧戸、マントルピースなど洋館の美しさを十分に味わうことが出来ました。見学後、山陽電鉄塩屋駅、またはJR塩屋駅にて解散となり、今回のハイキングは終了となりました。



【当日経路】(地理院地図より)

